

## 2022年度4月から9月 園児の健康の様子

### 1. 感染症の状況

感染症発生状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新型コロナウイルス	3	2	1	3	6	6	21
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎	1	3	3	1	2	0	10
溶連菌感染症	0	0	0	0	0	2	2
おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）	0	0	0	0	0	0	0
みずぼうそう（水痘）	0	0	0	0	0	0	0
リンゴ病（伝染性紅斑）	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	0	0	0	0	15	3	18
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	5	2	7
プール熱（咽頭結膜熱）	0	0	0	0	1	0	1
はやり目（流行性角結膜炎）	0	0	0	0	0	0	0
その他のアデノウイルス	0	2	0	0	0	0	2
突発性発疹	0	0	0	0	0	0	0
とびひ	0	0	1	0	1	1	3
アタマジラミ	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	0	0	0	0	5	26	31
ヒトメタニューモウイルス	0	0	1	14	4	0	19
中耳炎	4	1	2	0	2	1	10
喘息	0	2	6	2	1	2	13

今年の夏は、0～3歳児のクラスを中心に、手足口病・ヘルパンギーナ等の『夏風邪』、RSやヒトメタ等の『熱と咳の風邪』が流行しました。地域のコロナ流行拡大時も、園内で集団感染はありませんでした。

これは、保護者の皆様のご理解ご協力の効果がとても大きいと考えます。ありがとうございます。

【園医・渡辺医師より】今冬はインフルエンザとコロナが流行の予想です。インフルエンザワクチンの流通は例年並みで、現在外来も落ち着いてきています。インフルエンザを疑う場合も、まず発熱外来でコロナを否定してインフルエンザの診断になります。Withコロナが進みますので、うまく付き合っていきましょう。

### 2. けがの対応



※園で起きたけがのうち、医療を必要としたけがの状況です。

医療を必要とするけが	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年度	0	1	0	0	1	2
2018年度	0	0	0	1	2	2
2019年度	1	1	2	1	0	1
2020年度	1	0	0	0	1	1
2021年度	1	2	0	0	0	3
2022年度	2	1	2	0	0	1
内容	園からの受診			4歳：ホールで他児に躓き転倒、ブロックで額の切り傷（園医） 4歳：ホールでござに躓き転倒、床で口打撲、歯の揺れ（歯科）		
	保護者の受診	3歳：登園時、地下駐車場で転倒。額1cm裂傷（外科） 4歳：職員室前エントランスで転倒、口打撲歯の揺れ（歯科）	5歳：園庭でボール遊びをしていて指の腫れと痛み。突き指の診断（整形外科）			3歳：給食時間に転倒、口の打撲をしていた。帰宅後痛みを訴える（歯科）